

《11月10日(日)13:00~15:30》

広島市主催 RCCラジオ共催

第6回 広島市防災セミナー「伝えていこう命を守る防災のはなし」 防災を自分ごとに、持続可能な取り組みへ

平成26年8月20日の広島豪雨災害から10年の節目にあたる今年の広島市防災セミナーは、例年の区民文化センターのホールから、広島大学の東千田未来創生センターに会場を移し、登壇者と会場の参加者が近い、座談会のようなアットホームな雰囲気で開催されました。

司会は「おはようラジオ」パーソナリティの本名正憲さん。

第1部の基調講演は広島大学防災・減災研究センター 海堀正博 センター長による「自然からの恵みを楽しみながら非常時にも備えられるように」。広島で繰り返し発生する豪雨災害の被災地を長年にわたり調査されてきた経験に元、広島の防災の重要性についてお話しいただきました。

第2部のトークセッションは、「伝える！つながる！強くなる！『わがまち防災』」と題して、広島市危機管理室の植田謙吉室長や広島市地域防災リーダーの植木富士子さん、中章二さん、広島大学大学院・人間科学研究科で水害碑の研究をされている熊原康博教授も登壇。

各地域の防災活動での課題や課題解決のためのヒントなどについて話し合いました。

セミナーの様子は12月2日(月)からRCCメディアアプリIRAWと広島市公式YouTubeで配信予定。



■司会はおはようラジオ
本名正憲アナウンサー



■松井一寛広島市長による
ビデオメッセージ



■広島大学東千田未来創生
センターに多くの参加者が



■会場前のロビーには防災に関する展示や資料を展示し、多くの人が足を止めていました。



■第1部は広島大学防災・減災研究センター 海堀正博 センター長による基調講演。

第2部はトークセッションとして地域防災の課題やその課題解決のためのヒントから話し合いました。

